

凄まじいスピードでIT技術が進歩、進化し続ける現代社会の技術を常に支えてきたのは日本の技術であり、我々日本人が望むべくして今のデジタル社会を作ってきました。そのIT技術の恩恵を享受している今の子供世代は、お互い距離が離れていようが簡単に連絡を取ることができる、世界で今起きている事を手の中で見る事ができる、暇な時には遊べるゲーム機がすぐそこにある、という少し前の時代では考えられなかったことが常識となりました。

第四次産業革命、いわゆるインターネットの次の技術と言われる、AI等の技術が進化している現在、ITに対する知識の必要性も年々増大し、2020年からは、小中学校にて、プログラミング教育が始まり、子供たちは使う側から作る側へ変わる事を求められています。

我々が生み出してきた技術を否定し、拒む事は簡単な事です。しかし今世界を見れば、2045年に訪れると言われているAIが人間の脳を超える時（技術的特異点）がすぐそこまで迫っており、これからの世代は人間や動物、自然との共存はもちろんですが、ロボットとの共存も考えていかなければなりません。今の最先端技術にただただ怯えるのではなく、この時代を作ってきた日本だからこそ、子育てにおいてもツールとして積極的にIT技術を駆使していくことが必要ではないでしょうか。

我々は今までの古い子育てから学びながらも、より愛と温もりのある、未来社会に適合できる子育てを模索し、地域の宝である子供達が明るく豊かになれることを願い本年度活動に邁進してまいります。